

令和7年度 青葉地区

幼保小教育交流事業活動報告

小学校への接続に向けて
豊かな学びと育ちをつなぐ
幼保小の顔の見える交流事業を目指して

青葉地区実行委員会

青葉区

○幼稚園19園 保育園64園 認定こども園2園

小学校30校が3つのブロックに分かれ園児・児童の交流活動や職員の交流活動を通してスムーズな接続を目指しています。

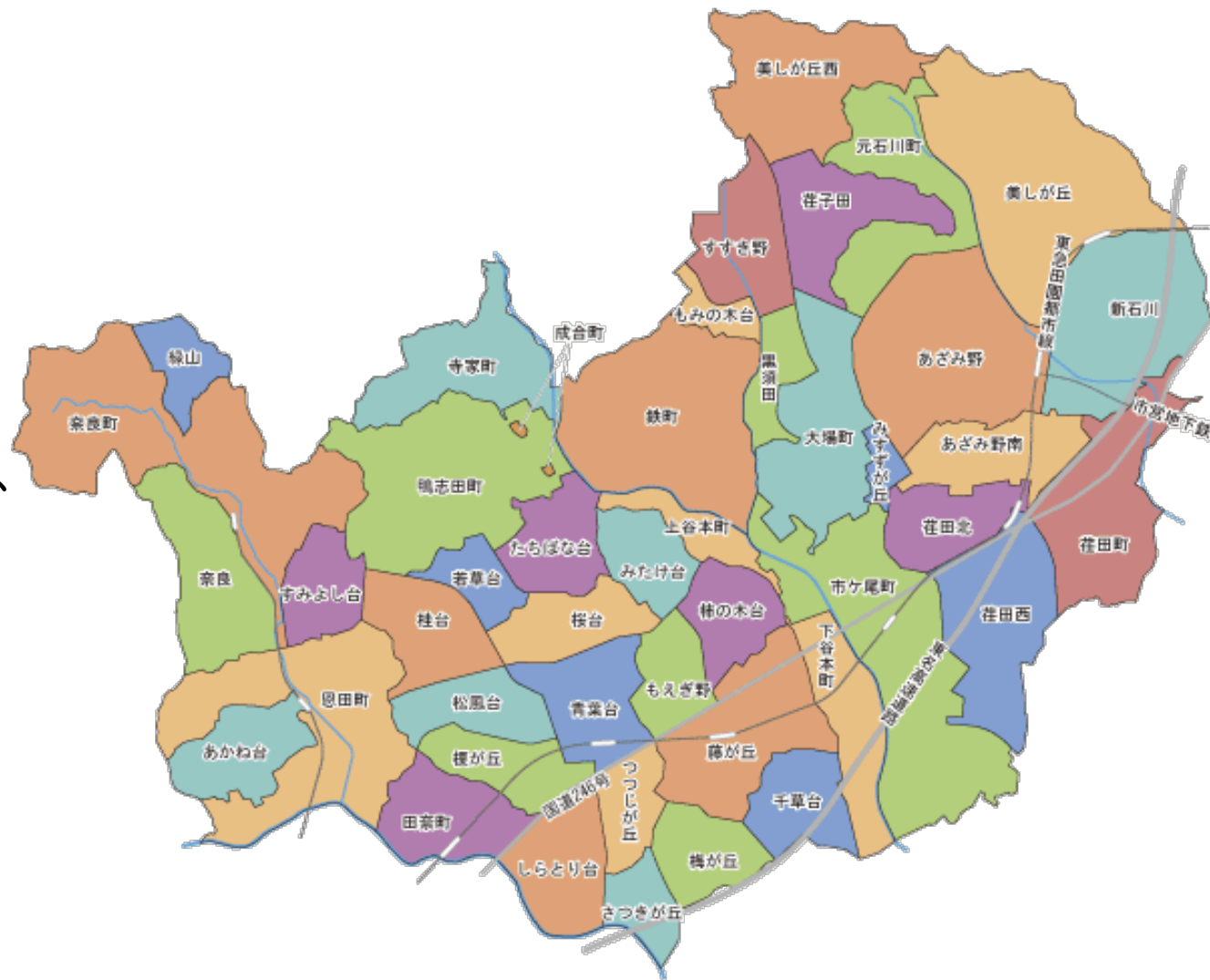
○小学校を中心とした交流事業が盛んに行われ、複数園とかかわる小学校や複数小学校とかかわる幼稚園などがあります。

○幼保小連携推進事業校は3校

みたけ台小学校(2年目)

美しが丘小学校(1年目)

藤が丘小学校(1年目)



年間活動報告

○実行委員会 年間計画・予算案立案

○健やか子育て講演会の企画・運営

○ブロック別 交流会の企画・運営

○公開保育・授業公開の実施

○事業の反省とまとめ

○次年度への引継ぎ

総会・年度末総会実践報告会

○第1回 書面開催

- ・今年度の事業計画確認 実行委員紹介
- ・参加幼稚園、保育園、小学校確認
- ・公開幼稚園保育園の確認
- ・幼保小交流事業全市的な取組について

○第2回 対面開催

- ・ブロック交流事業報告
- ・推進地区事業報告
- ・今年度の成果と課題

健やか子育て講演会

○12月18日(木) 青葉公会堂 都筑地区・青葉地区合同開催

すべての園・小学校で大切にしたい子ども主体の教育・保育

～「初めの100か月の育ちビジョン」を手掛かりに～

講師：玉川大学教育学部乳幼児発達学科教授 大豆生田 啓友 氏

幼保小教育交流事業

○公開保育 各ブロックごとに担当園が開催

○公開授業

第1回 11月12日(水)

計8校：奈良の丘小・鴨志田緑小・田奈小・もえぎ野小
美しが丘小・恩田小・美しが丘東小・藤が丘小

第2回 1月28日(水)

計8校：荏田西小・美しが丘西小・さつきが丘小・鉄小
嶮山小・鴨志田第一小・みたけ台小・奈良小

ブロック別活動報告 Aブロック



集団活動を通じた交流（体育館）

園児たちはどの子も楽しそうに過ごしていました。園児や児童、それぞれの様子を共有することができました。

1年生は、お兄さんお姉さんになり、一生懸命案内していました。とても楽しかったそうです。



学校探検・施設見学を通じた交流

ブロック交流会の実施概要

【第1回交流会：令和7年8月28日】

会場：美しが丘西小学校 アリーナ

<実施内容>

○研修：『架け橋プログラムについて』

講師：こども青少年局 担当課長 國分 享子先生

○情報共有

【第2回交流会：令和8年1月22日】

会場：美しが丘西小学校 アリーナ

<実施内容>

○今年度のふり返り：小学校教員がファシリテーターとなり、今年度の取り組みをふりかえり、iPadで入力して送信した。

○情報共有

今年度の主な交流事業の取り組み

○公開保育（感染症流行のため中止）

○公開授業（土曜参観や運動会、区小教研授業研究会の公開）

○情報共有（年長と1年生の過ごし方の比較等）

○幼保小での交流（各交流園・小学校で開催）

※共有スプレッドシートを活用し、それぞれの園や小学校の予定を更新するようにした。

※活動費：各ブロックに支給された5万円を交流の際に作成する飾りなどに使用する折り紙等のワークセットとして購入し、各園・小学校に配った。

成果・次年度へ

【成果】

- 就学前の交流を通して、園児の安心感と就学への期待や児童の責任感・自己有用感が高まった。
- 園・小学校間での参観や共同作業により、教員間の情報共有が進んだ。
- 生活習慣や指導のつながりが意識され、育ちの連続性が図られた。

【課題】

- 交流前の参観や日程調整など、事前準備と情報共有の早期化が必要である。
- スプレッドシート等の活用や引き継ぎ体制において、運用面の改善が求められる。
- 年長児の実態や園からの要望を踏まえた、より質の高い接続が課題である。

ブロック別活動報告 Bブロック

○鉄小学校

【第1回】

- ブロック長・役員紹介
- 今後の交流会や公開保育・授業について
- ブロックごとの交流確認

【第2回】

- 公開保育・公開授業の報告
- 来年度事業 ブロックごと交流会確認

【公開保育】

大場白ゆり幼稚園

【公開授業】

- ①令和7年11月12日（水）
青葉区小学校一斉授業研A
- ②令和8年1月28日（水）
青葉区小学校一斉授業研B



【鉄小学校と大場白ゆり幼稚園の交流】

第1回目 令和8年1月20日（火）10：00～11：30

場所：大場白ゆり幼稚園 内容 ゲーム遊び ペアになって遊ぶ

第2回目 令和8年2月17日（火）

場所：鉄小学校 内容①5年生からプレゼント
②学校案内 お店屋さんごっこ
③感想交流



ブロック別活動報告 Cブロック

【第1回】7月23日(火)

- ブロック長・役員紹介
- 今後の交流会や公開保育・公開授業について
- ブロックごとの交流の確認

【第2回】2月26日(木)

- 公開保育・公開授業の報告
- 来年度の交流事業について

【公開保育】

みたけ台幼稚園

【公開授業】

①11月12日(火)

恩田小・田奈小・奈良の丘小

②1月28日(水)

鴨志田第一小・みたけ台小

【恩田小学校とナザレ幼稚園の交流】

- ①今年度の交流について園の先生と小学校教諭で検討会(9月)・からんこ山見学
- ②ナザレ幼稚園とのミニ運動会(10月)・恩田小体育館にてダンス・玉入れ
- ③からんこ山での校外学習(11月)・ナザレ幼稚園のからんこ山にて秋探し
- ④ナザレ幼稚園との交流(12月)・恩田小校庭にてチューリップ球根植え・外遊び
- ⑤ナザレ幼稚園との交流(1月)・ナザレ幼稚園のからんこ山にて「秋探しビンゴ」
- ⑥ようこそ恩田小へ(2月)・恩田小学校にて近隣園との交流



成果と課題

《成果》

- 架け橋カリキュラムが浸透し、幼稚園・保育園と小学校との交流がブロックごとに活発に行われるようになってきている。
- 小学生にとっては相手意識をもって準備を進める中で学習を充実させることができ、園児にとっても就学への不安を期待に変えることができる機会となっている。
- ブロックごとに指導者の交流機会を作り、互いの理解を深めることができた。それぞれ近くの学校、園とこれまでどんな交流をしてきたかを情報交換したり、日頃の教育、保育について子ども観についてなど、思いを共有することができた。

成果と課題

《課題》

- 青葉区は小学校数が30あり、園の数も大変多い。加えて、学校と園が離れているなど問題があり、希望通りの交流ができていない。学校側も時間の枠の問題もあり、交流の回数には限りがある。
- 幼保小のデジタルDxとして、連絡や情報共有がスムーズに行えるよう園のメールアドレス収集を試みた。スピーディーな連絡のためにも今後もメールでのやりとりができるとよいが、園によってはメールでの連絡という習慣がないところもあり、返信もなく情報が共有されているか疑問がある。